

変な音を、 つくってみよう!



2016年12月に相馬市のLVMHこどもアートメゾンで開催された藤倉氏と本條氏による作曲教室の様子

エル・システムジャパンが開催してきた、
誰でも参加できる作曲教室に参加しませんか?

ボランティア
も募集中!!

2/24 sat. 17:00~19:00 **読谷村文化センター視聴覚室**

〒904-0301 沖縄県中頭郡中頭郡読谷村座喜味2901

参加費：無料 定員：20名(申込多数の場合は抽選)

参加対象：高校生まで、どなたでも参加可能(楽譜を読めれば未就学児もOK)

申し込み
フォームから

右のQRコード又は、以下リンクの
申し込みフォームから申し込みください。
<https://forms.gle/mGiwieX6uTbYWtJ79>



LINEから
申し込み

右のQRコード又は、以下リンクの
作曲教室専用LINEから申し込みください。
<https://lin.ee/SYfi1DF>



変な音を、 つくってみよう!

昨年、設立10周年となり、「誰もが自由で創造性を発揮できる共生社会」を新たなビジョンに、希望する誰もが無償で参加できる音楽プログラムを、国内6ヵ所実践しているエル・システマジャパン。エル・システマ作曲教室は、2013年秋から福島県相馬市を中心に、ロンドン在住で多方面にて活躍する世界的作曲家藤倉大氏の監修で開催してきたとてもユニークなワークショップです。ここでは、楽しくも、教え込まない形でありつつも、毎回様々な分野で活躍する音楽家を講師として招き、コミュニケーションを通して、音楽経験のある子・ない子含めて子どもたちが、譜面を使うというルールの上に則って、自由奔放に作曲をします。子どもたちの、変な音への興味関心、新しいものへの好奇心には、藤倉氏や世界的な演奏家の方々も舌を巻くほどです。言語を超える音楽の力、子どもたちの無限の可能性を強く感じる場所です。譜面と会話をとおし、あぁでもない、こうでもない、試行錯誤する「共創」の場を体験し「世界にたった一つに自分の曲」を紡ぎあげる子どもたちの目は創造性にあふれ、とても輝きます。昨年同様、読谷村内で芸術文化活動支援を行う組織、CoAr(コア)とエル・システマジャパンが協働し、作曲教室を、過去2回講師を努めてくれている、邦楽界を代表する三味線奏者である、本條秀慈郎氏を迎えて開催します。翌2月25日に行われる、本條氏の演奏会でも、当日、子どもたち作る曲を、数点、演奏する予定でもありますので、みなさんもぜひ、参加してみませんか。

藤倉 大 Dai Fujikura プロフィール



大阪生まれ。15歳で単身渡英し、ベンジャミンらに師事。数々の作曲賞を受賞、国際的な委嘱を手掛ける。オペラの国際評価も高く、2015年にシャンゼリゼ劇場、ローザンヌ歌劇場、リール歌劇場の共同委嘱によるオペラ《ソラリス》を世界初演。20年に自身3作目のオペラ《アルマゲドンの夢》を新国立劇場で世界初演。数々の音楽誌において、その年のオペラ上演におけるベストに選出された。17年から東京芸術劇場で毎年開催の「ボンクリ・フェス」アーティストック・ディレクターを務める。19年に尾高賞、文化庁芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。近年の活動は多岐に渡り、リモート演奏のための作品の発表や、テレビ番組の作曲依頼も多数。録音はソニー・ミュージックジャパンインターナショナルや自身が主宰するMinabel Recordsから、楽譜はリコルディア・ベルリンから出版。 <https://www.daifujikura.com/>

本條 秀慈郎 Hidejiro Honjoh プロフィール



本條秀太郎に師事。蜷川幸雄が演奏を高く評価。桐朋学園短期大学部卒。ACCフェロー受給によりNYに留学。文化庁文化交流使。ロンドンウィグモアホールソリストサイタル。藤倉大作曲「三味線協奏曲」を世界初演し現在国内外で再演を重ねる。坂本龍一と三度共演。芸術選奨文部科学大臣新人賞。文化庁芸術祭新人賞、出光音楽賞、京都青山音楽賞青山賞等受賞。

22年一柳慧作曲「ヴァイオリンと三味線の二重協奏曲」世界初演し公演は第77回文化庁芸術祭大賞を作品は尾高賞を受賞。ジョン・ケーヅらが務めたアメリカU.C DAVISのアーティスト・イン・レジデンスに選出

CoAr(コア)とは

子どもたちの活動、芸術文化活動に関する企画・運営、団体支援を行う組織。2022年より「だれもが豊かな感性をもちつづける世界」を目指し、読谷村を中心に沖縄県で活動しています。オーケストラ、劇場、子ども支援の財団などと活動をすると共に、2022年度にはエル・システマジャパンと共催で第1回の作曲教室 in 読谷村を開催。今後は芸術療法などの手法もあわせ、音楽、舞踊、文芸や造形などをあわせたワークショップを村内にて実施予定です。

エル・システマ ジャパン とは

エル・システマは、1975年、貧困や治安の悪化という問題を抱えていた南米ベネズエラで、子どもたちを守るために始まった音楽教育プログラム。現在では、70以上の国・地域でエル・システマの理念に基づいた音楽教育が実施されています。日本では、東日本大震災で被災した子どもたちが音楽での経験を通して、自信や尊厳を回復し自分の人生を切り開いていく力を育むことを当初の目的に、2012年よりエル・システマジャパンとして福島県相馬市で開始。2014年から岩手県大槌町、2017年より長野県駒ヶ根市、東京都、10周年を迎えた2022年からは大阪府豊中市、京都府舞鶴市と活動が拡大しています。また、2023年4月からは児童養護施設でのバイオリン教室の実施を音楽支援ボランティア団体「弦楽りぼん」と共に行っています。家庭の事情にかかわらず、どんな子どもにも音楽に触れられること、皆で奏でるオーケストラやコーラスの形で学んでいくことを大切に、自己表現の場として、大事な居場所の一つとして、そして音楽が人と人をつなぐことを目指しており、ビジョンとして「誰もが自由で創造性を発揮できる共生社会」を掲げています。2022年国際交流基金地球市民賞受賞。

CoAr



エル・システマ ジャパン
の詳しい活動については、
右のQRコードから

